

# もりもり

No. 25  
発行 2014年7月



## 関門交流わんぱくキャンプ

日程 8月19日(火)～8月22日(金)  
場所 下関市 深坂自然の森・北九州市 もじ少年自然の家

対象 下関市内在住の小学4年生から6年生  
定員 200名(先着順)  
参加費 9800円  
内容 ☆海力ヌーハGO! ☆竜王山を制覇せよ! 登山に挑戦☆超COOL! 真夏のシヤワーク  
ライミング☆海や川の生き物  
物知り博士に!

〈保護者事前説明会〉

日時 8月3日(日)18時～  
場所 深坂自然の森 森の家下関

## Enjoy Summer camp!!

第5回

## 関門交流 わんぱくキャンプ

新しい友達と出会い、過ごすご四日間!

海、施設で山、川を体験!

2014年8月19日(火)～8月22日(金)

【場所】下関市深坂自然の森・北九州市もじ少年自然の家  
【対象】下関市内に在住の小学4年生から6年生  
【参加費】9,800円  
【定員】20人(応募多数の場合は抽選)  
【内容】カヌー体験、登山、沢登り、海や川の生きもの探検など  
【TEL・FAX】083-259-8555  
【Mail】info@teekamkyo.com



## 6月の事業報告

森の小学校  
6月7～8日  
6月21～2



えののる見  
えく人丸を!  
考動大超りも  
でではをばりも  
自分には像んぼ  
自時想がせ

子ども冒険キャンプ  
5月31日～6月1日



森での出会った仲間たちの大事な宝物だね!!

## 受託事業報告

永大丸レッドライオンズ様ご来園 益崎 達

6月21日、ロゲイニング、シャワークライミングの体験をされました! この日はあいにくの曇り空でしたが、たくさん笑顔であふれた皆様でした。ロゲイニングでは、各チーム制限時間いっぱいまで森の中を駆け回りました。高得点をたたき出したチーム、時間に遅れてマイナス点のチームもありましたが、まだまだ疲れ切っていない様子でした。

午後のシャワークライミングも、さぞ気持ちよかったですのではないのでしょうか。またのお越しをお待ちしています!

川棚保育園様 親子遠足

6月13日、ネイチャーゲームのプログラムを担当しました。160名近くの親子で、キャンプ場はとても賑やかになりました。きのこを必死に探すお子様、お母さんの手を強く引っ張って、どんと山に入っていく姿など、とても印象的でした。宝ものはあったかな? 微笑ましい場面がたくさんあった一日でした!

垢田幼稚園様 家庭教育学級

6月24日、川のパログラムでは初めて出会う生きものにドキドキ! 木工クラブでは、何を作るか考えるだけでわくわく!

お母さま方のセンスが光る作品に、心がおどろ一日となりました。



下関市深坂自然の森 森の家下関  
〒759-6602 下関市大字蒲生野字深坂  
TEL・FAX 083-259-8555  
http://www.misakanaturalforest.com

## 森の小学校

日程 8月1日(金)～2日(土)  
場所 深坂自然の森  
対象 小学1年生～3年生  
定員 200名  
内容 自分で仕掛けを作り、川の生きものや昆虫を採取します。命の尊さを考える2日間。  
参加費 19800円  
募集期間 7月6日(日)まで  
締め切り後はお電話でお問い合わせください。

## こども冒険キャンプ

日程 8月26日(火)～28日(木)  
場所 深坂自然の森  
対象 小学4年生～6年生  
定員 200名  
参加費 19800円  
内容 川と海のつながりはどこから見えてくるのだろうか? 水辺の不思議に出会う3日間。

募集期間 7月25日(金)～8月5日(火)

## 門司の海でカヌー体験!

下田 裕一

6月14日に、北九州市立もじ少年自然の家でカヌー体験を行いました。梅雨の中ですが天候が心配されましたが、当日は奇跡的に無風の状態で練習を実施しました。前進、後退、右折、左折、パドルを両手に持ち、右に左に繰り返し動きました。



午後には実際に海に出てカヌーに乗りました。ただ、午後に少し風が吹き、干潮状態だったため、乗船時間はわずかでした。それでも波に揺られ、カヌーを操作したみなさんは楽しそうな表情で上陸していきました。



## 森で食べるランチはいかが?

第4回アウトドアランチキャンプ 三浦 彩乃



この日初めて出会う人たち同士、心を通わせ協力し合えるか。それがプログラムを成功させる鍵となります。閉会式でのアイスブレイクで、気持ちを和ませながら調理開始。最初は硬かった参加者の表情も、この日の空模様のように次第に晴れやかになってきました。炊き上がった鶏ご飯をみんなに分けて食べました。自分が食べられる量を盛り付けてますが、自然と後の人のために残しておく量もなんとなく計算しながら取り分けておられるようでした。ちよとした思いやりが光って見えました。核家族化している現代では、たまには大勢で食べるご飯、良いもんですね!